



公開講座レター

No.10



地域創造支援センターでは、公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や参加者の声をお届けする「公開講座レター」を発行しています。

今回は、行政政策学類の先生による公開講座「たかがスポーツ、されどスポーツ」PART IIを探る。」と「『塵芥集』からみる日本の中世」の様子をお届けします。

講座名	「たかがスポーツ、されどスポーツ」PART IIを探る。
開催日	8月3日、10日（土）9：00～12：10
講師	行政政策学類教授 新谷崇一先生

講座の概要

面白い、楽しいと感じて終わってしまいそうなスポーツに関わるいろいろな疑問を探っていきました。講座は和やかな雰囲気が進み、普段何気なくしているスポーツの目的やマイナス面、高齢者のためのスポーツなどについて、改めて考えることができた講座となりました。

各回の内容

- 8/3 ①スポーツとは何か ～その定義を探る～
- ②スポーツと文化 ～スポーツの構成を探る～
- 8/10 ③スポーツと疎外 ～スポーツを行うことによるマイナス面を探る～
- ④生涯スポーツ ～高齢者のスポーツを探る～

講座の様子



参加者の声

- ・スポーツのマイナス面について、系統なお話が聞けて、大変良かった。
- ・スポーツを学術的に考えることができた。では、ビジネスとしてのスポーツは？ということを考えてみたくなった。
- ・趣味のスポーツに参考になりました。
- ・漠然としていた高齢者スポーツの概念が理解できた。

講座名

『塵芥集』からみる日本の中世

開催日

10月2日(水)、9日(水)、15日(火) 18:30~20:30

講師

行政政策学類准教授 阿部浩一先生

講座の概要

戦国大名伊達氏が福島で編さんした分国法である『塵芥集』を素材として、今とは感覚も価値観も異なる中世の社会について学びました。

先生には中世の人々の考え方や物の捉え方をわかりやすく解説していただきました。歴史好きで熱心な受講生が多く、毎回終了時間をオーバーするほど質問に熱が入っていました。

各回の内容

10/2 『塵芥集』と神仏の世界

10/9 『塵芥集』と自力救済観念

10/15 『塵芥集』と土地をめぐる観念

講座の様子



参加者の声

- 阿部先生の飽きさせない2時間のご講義は大変興味深く、貴重な時間でした。
- 予想通り？私にはちょっと難しい講座でしたが、丁寧な説明で私なりに理解できました。歴史を学ぶ原点を教えられたとの思いが強いです。
- 今回の講座で中世の人々の考え方が分かり、大変有意義でした。
- さらに熟読し「塵芥集」が現代に通じるものを見つめ直していきたいと考えております。

作成：地域連携課
2013年12月